



Liquid Plastics Limited

Iotech House • PO Box 7 • Miller St • Preston
Lancashire • PR1 1EA • England
Tel: +44 1772 259781
Fax: +44 1772 202627
E-Mail: export@liquidplastics.co.uk

May 2002

PRESS RELEASE

日本の大聖堂が新しく甦る

LPL 社製コーティング材が日本の有名な大聖堂の内外装修復に貢献しました。

LPL 社で製造されている特殊保護材が日本の重要文化財に指定されている北海道函館市ハリストス正教会復活聖堂（およそ 1000 m²）に使用されました。この教会は山の中腹に位置し、冬は-20°まで気温が下がり、時には強風にあおられる一方、夏は 30°以上の高温と高い湿度にみまわれる、非常に厳しい環境下にあります。1916 年にロシアの設計家によりデザインされ日本人により建設されたこの教会にはロシアと日本の二つの文化がみごとに融合されています。

1988 年までの 3 年間にわたり大掛かりな修復が行われましたが、あまりにも過酷な環境下のため、その後 2 年ごとの修復を余儀なくされてきました。そこで 35 年の耐用性を記録した実績を持ち、これまでに北極からアラビア湾まで世界中の過酷な環境下での使用実績のある LPL 社のコーティング材が採用されることになりました。

外壁のコンクリート部は「モノラステックス RE」、石壁は撥水材「K501」が使用されました。「モノラステックス RE」は紫外線によりその塗膜表面を硬化させますがその下部は優れた柔軟性を保ち激しい温暖の差による素地の動きに追従することができます。幅広い標準色の中から今回は白を使用しました。また「K501」は「モノラステックス RE」とは全く異なる特長を持った透明な水性撥水材で、石材のような吸水性の素地に深く浸み込み防水層を形成します。シラン、シロキサンを主成分とし、レンガ、石材のような多孔性の素地をその質感・外観を全く変えることなく水の侵入を抑え、結露を防ぐことができます。

教会の内装には水性アクリルコーティング「モノラステックススムース」が使用されました。この製品は英国アグレマン協会（BBA）により 15 年以上の耐用性が認定されており、その塗膜は柔軟さと強

韌さを合わせもち、素地の水分を水蒸気として外部に排出し、外部からの水分を遮断する特長があります。また、その耐用年数を通して色の保存性に優れいつまでも美しい外観を保ちます。

この施工で使用された LPL 製品は芝田株式会社を経由し施工は有限会社リペラにより行われました。LPL 社は世界中の国々に代理店を配し、アメリカのコネチカット州には製造工場を、ベルギーには主要代理店センターを新たに建設中です。

以上

